

# 平成22年度の主な事業 キーワードは「行財政・地域・都市・産業・自然の創造」

限られた財源を安心・安全なまちづくりや子育て支援、産業振興、快適な都市空間の創造などに重点的に配分する予算編成となっています。主な事業・施策の内容を紹介します。  
◎は新規事業です。1万円未満は四捨五入しています。

## ～市民みんなが安心して暮らせ、住み続けたいと思うまちへ～

### ○次期総合計画を策定 929万円

平成23年度からの次期総合計画(まちづくりビジョン)について、市民意識調査やパブリックコメントなどを実施したうえで策定します。

#### 【詳細】

次期総合計画は、岸和田のまちの将来像(ビジョン)を描くものです。

キーワードは市民、議会、行政が手を取り合い、密接に連携する「みんなの総合計画」。そのため、策定は市民の皆さんとの協働で進めています。



まちづくりビジョン  
市民会議の様子

#### ■今年度の予定

引き続き、市民の皆さんと手を取り合いながら、今年度中に次期総合計画を策定します。策定に当たっては、さらに多くの市民の声を聴くために市民意識調査やパブリックコメントを実施します。

### ◎第3期きしわだ女性プランを策定 594万円

男女共同参画に関する市民意識調査を実施し、第3期きしわだ女性プランを策定します。

### ○乳がん・子宮がん検診を無料実施 5,023万円



特定年齢の女性に対して、女性特有のがんである乳がんと子宮がんの検診を無料で行います。

### ○妊婦の健診費用の助成を拡充 9,937万円

妊婦の健診費用の公費負担額を、現在の1人3万5千円から4万9千円に拡充します。

## ～地球と人にやさしい、みどりゆたかな美しいまちへ～

### ○環境基金を造成 3,129万円

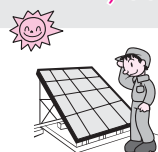


地球温暖化対策、循環型社会の構築、自然の再生などの環境施策を推進するために環境基金を造成します。

公共施設の省エネ改修は、CO2の削減だけでなく経費の削減にもつながるため、その効果額を基金の財源に充てます。積み立てた基金については、太陽光発電システム導入の補助や地球温暖化対策の実行計画策定など、様々な事業に活用していきます。

### ◎太陽光発電システム設置を支援 1,000万円

一般住宅が太陽光発電システムを設置する費用を助成します。



### ◎地球温暖化対策実行計画を策定 328万円

地球温暖化対策を推進するために実行計画を策定します。

### ◎子ども手当を支給 42億 346万円

中学校修了までの児童に対し、子ども手当(児童手当を含む)として1人につき月額1万3千円を支給します。



### ○乳幼児医療助成を拡充 5,655万円

通院の助成について、対象を4歳未満から就学前児童にまで拡大します(所得制限は現行通り)。

### ○幼稚園園庭を芝生化 100万円

昨年度に引き続いて、幼稚園の園庭の一部について、プレイゾーンとして芝生化を行います。

右の写真は岸城幼稚園の様子。芝生のお山で転がったり、優しくなでて話しかけたり、緑いっぱいになった幼稚園の園庭では、園児たちが元気に遊んでいます。



### ○チビッコホームの開設時間延長などを実施 3,256万円

チビッコホームの開設時間を午後6時半まで延長します。また、特別支援学校に通学する児童を受け入れます。

### ◎中学校給食のあり方を検討 300万円



中学校給食のあり方について、基本的な考え方を取りまとめます。

取りまとめに当たっては、中学生にとってどのような昼食がふさわしいか、食育や栄養補完などの観点から総合的に検討します。

### ○学習支援アドバイザーを配置 735万円

放課後、全ての市立小・中学校に学習支援アドバイザーを配置し、学習支援を行います。

### ◎学校支援地域本部を推進 1,018万円

地域にコーディネーターを置き、その連絡調整の下に地域住民がボランティアとして学校の教育活動を支援する「学校支援地域本部」を推進します。

### ◎消費者への啓発のためイベントなどを実施 750万円

消費者の安全と安心を確保するため、研修会や広報紙の作成・配布、イベントなどを行います。

### ◎障害者福祉施設の整備を助成 946万円

障害者の就労訓練のための施設「(仮称)ウォッシュハウス サンライズ」の新設に要する費用の一部を補助します。

### ◎市民税非課税世帯などへ予防接種を無料実施 1億2,367万円

生活保護世帯や市民税非課税世帯に対し、新型インフルエンザ予防接種を無料で行います。

